

県立水戸高等特別支援学校 学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	A 妥当である 4 B おおむね妥当である 1 C あまり妥当でない D 妥当でない	・職業生活を見据えた取り組みが良い。 ・感染症対策をしながらの重点目標への取り組みは大変ご苦労されたことと思います。 ・重点項目の達成状況は高い印象。これまでの学校方針にブレがないことを表している。対外活動の中止や縮小、自粛など学校行事に制限がある中で、改めて社会とのコミュニケーションや人と人とのつながりの大切さを考える機会に生かしてほしい。
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	A 妥当である 2 B おおむね妥当である 3 C あまり妥当でない D 妥当でない	・全コースのパソコン導入や iPad でのオンライン学習の推進ができたことは良いと思う。 ・他者との関係性が絡んでくる内容はなかなか難しかったかと思う。 ・具体的目標が部門別に細かく分類され、その方策も具体的に示されており、とても素晴らしい。その反面、達成の評価は数値目標に対する達成度合いを想像してしまう。課題及び次年度への改善に示されているが、どのような課題が見え、どのような手を施し、または改善し、どう次年度に繋げるかをもっと具体的にした方が良いのでは。
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	A 妥当である 1 B おおむね妥当である 4 C あまり妥当でない D 妥当でない	・4月からは少しコロナも落ち着くだろうから子供達も元気にすべての活動に挑戦してほしい。 ・ゲームの時間管理の問題なども出て来るとは思うが、e-sports への参加も面白いかと思う。 ・家庭内学習やオンライン授業の課題、寄宿舎内でのクラスターが発生した時を想定した危機管理など、マニュアルが出来ていることに満足せず、いつでも見直しをかけられるようお願いしたい。企業実習や地域交流など外部との接点も計画通りいかなかった問題もあったと思うが、そのような状況下でも工夫をされ努力されていることが伺われた。受検者確保に向けた取り組みについては、小学生へのアプローチを含め、相応に努力されている。大変でも志願する生徒には細かい対応が必要だろう。
4. 学校の改善方策への対応は適切か	A 妥当である 2 B おおむね妥当である 3 C あまり妥当でない D 妥当でない	・生徒一人ひとりの状態を把握するために、トーキングタイムの重要性和、キャリアパスポートやハートバランスシートを活用していることは、個別指導の為に、そして先生方の情報共有の意味でも大切なものと思う。生徒自身が記入するものと思うが、個人個人の表現に差があったり、客観的な評価や判断に難しさがあったりもするかと思う。要はいかに活用されるか。さらに良いものに。
5. その他（各学校の状況に応じて設定）	A 妥当である 4 B おおむね妥当である 1 C あまり妥当でない D 妥当でない	・各コースの自治体への参加は良い。 ・就職状況や入学希望者の状況など気になるところですが、子供達の為に学校一丸（チーム高特）となって力を尽くされることを期待している。 ・社会の大きな変化に生徒のみならず先生方もついていかなければならない中で、先生への負担が増えないようにする対策は重要。 ・NIEの活用は高く評価。世の中の動きを知ることは生徒にとっても重要。新聞記事からテーマを与えてディベートすることで、考える力も表現する力も備わってくるだろう。今後学校における ICT の活用はより重要になる。環境整備の必要性を学校内はもちろん家庭においても感じる。入口は簡単に見えるが、差はつきやすいもの。オンラインにおいても双方の対応如何で変わってしまう問題を秘めている。一方的にならない工夫、向かい合うための努力はいろいろなところで試されている状況。学校も同様の課題はあるように思う。